



ICHIKEN

第89期 中間株主通信

平成26年4月1日～平成26年9月30日



株式会社 **イチケン**

証券コード:1847

経営理念

より豊かで快適な 『くらし空間』の実現

Contents

ごあいさつ	P1
業績ハイライト	P2
営業のご報告	P3
財務諸表	P5
トピックス	P7
会社概要／株式情報	P9

●ごあいさつ

代表取締役社長の土谷忠彦でございます。株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第89期中間期における営業のご報告にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

私どもは、「より豊かで快適な『くらし空間』の実現」という経営理念のもと、「商業施設の建築事業を中核とした特性のあるゼネコン」、「安定成長する事業基盤の構築」を基本方針として、企業価値の向上に取り組んでおります。

当中間期におきましては、公共投資や民間設備投資の増加等持ち直しの動きが見られるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による住宅建設の減少や技能労働者の不足に伴う労務費の高騰及び資材価格の上昇など、依然として厳しい状況のなか、私どもイチケンは「商業施設」の建築及び内改装工事に加え、住宅や医療・介護施設等の施工にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当中間期における業績につきましては、売上高及び利益ともに当初の予想を上回る結果を残すことができました。

当社を取り巻く経営環境は、今後も厳しい状況が続くものと予想されますが、株主の皆様のご期待により一層応えるべく、社員一同

一丸となってさらに努力する所存でございますので、株主の皆様には一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

平成26年12月

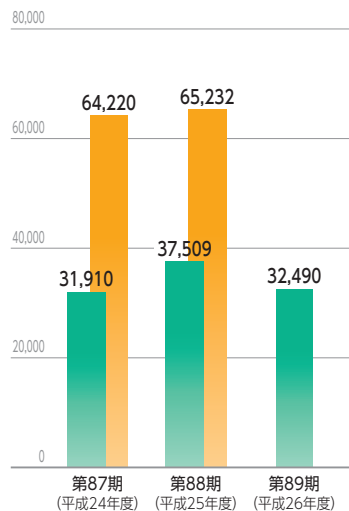


代表取締役社長 土谷 忠彦

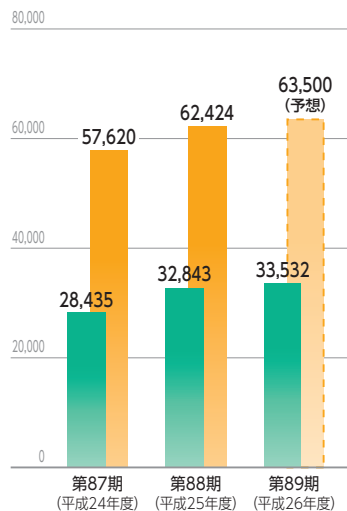
■ 中間期 ■ 通期

(単位:百万円)

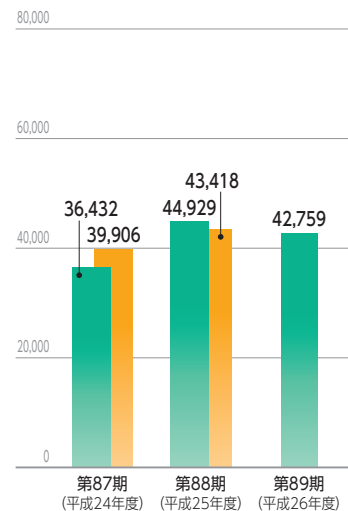
受注高



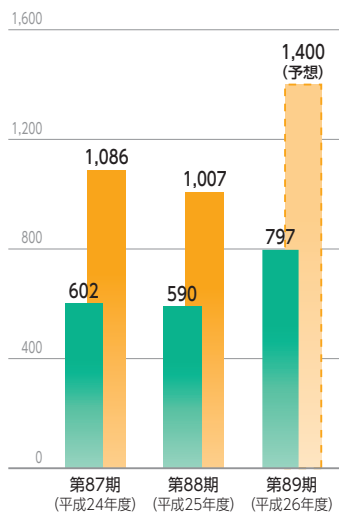
売上高



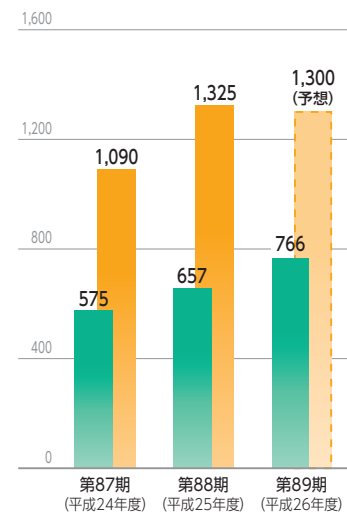
手持工事高



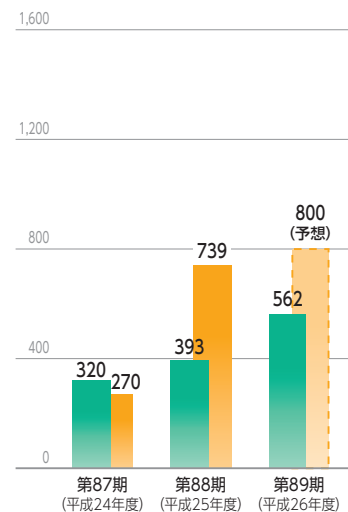
営業利益



経常利益



四半期(当期)純利益



※第87期は賃貸用不動産の減損損失(443百万円)を特別損失に計上。

商業施設の建築及び内改装工事のほか、 住宅・医療・介護・スポーツクラブ・ホテル・ アミューズメント施設等の受注活動にも注力し、 安定した収益基盤を築いてまいります。

当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、経済・金融政策による円高是正等を背景として持ち直しの兆しが見られ、先行きについては海外の景気減速の懸念等は残るものの、景気回復への期待が高まりつつあります。

建設業界におきましては、公共投資や民間設備投資の増加等持ち直しの動きが見られるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による住宅建設の減少や技能労働者の不足に伴う労務費の高騰及び資材価格の上昇など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は受注拡大のため、コア事業である「商業施設」の建築及び内改装工事に加え、住宅や医療・介護施設等の受注活動にも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当中間期の業績につきましては、受注高は前年同期比13.4%減の324億9千万円となりましたが、売上高及び利益はともに当初の予想を上回る結果となりました。

売上高につきましては、前年同期比2.1%増の335億3千2百万円となりました。その内訳は、建設事業が前年同期比2.0%増の331億4千9百万円、不動産事業が前年同期比7.5%増の3億8千3百万円であります。次期への繰越工事高は前年同期比4.8%減の427億5千9百万円となりました。

損益につきましては、前期以前に受注した低採算工事の一巡による利益率の改善などにより売上総利益が増加したため、営業利益は前年同期比35.0%増の7億9千7百万円、経常利益は前年同期比16.7%増の7億6千6百万円、四半期純利益は前年同期比43.0%増の5億6千2百万円となりました。

通期の見通し

通期の業績につきましては、当中間期の実績を踏まえ、売上高及び各利益につき、当初の予想を上方修正し、売上高は前期比1.7%増の635億円、営業利益は前期比38.9%増の14億円、経常利益は前期比2.0%減の13億円、当期純利益は前期比8.1%増の8億円と予想しております。

株主の皆様へ

私どもの重要な主題は、「安定した収益基盤の構築」と「中長期的成長のための事業戦略の策定」です。

当社は平成27年度(2015年度)に創立85周年を迎えます。

これからは、商業施設の建設を中核としつつも、さらに『暮らし空間』を掘り起こし、住宅、オフィス、医療、介護、スポーツクラブ、ホテル、レジャー施設等の建築をしっかりした事業領域とするゼネコンに発展・成長させたいと考えております。

私どもの目指す先は「より豊かで快適な暮らし空間を創造するゼネコン」であり、その「新しいブランドを展開することにより、広く社会へ貢献する企業」であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜り、当社を大きく育てていただきますように心からお願い申し上げます。

プランズ さくら夙川



ベルクスモール足立花畑



RAKU SPA 鶴見店

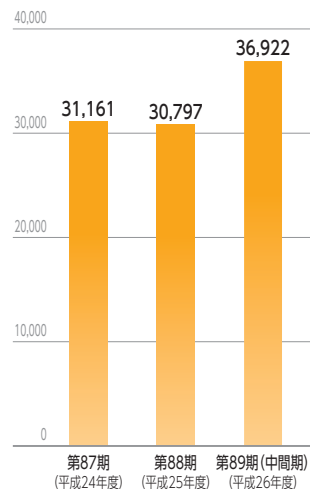


● 財務諸表(要約)

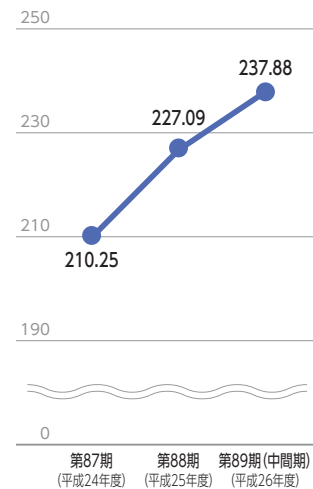
貸借対照表		(単位:百万円)	
科目	当中間期 平成26年9月30日現在	前期 平成26年3月31日現在	
資産の部			
流動資産	31,779	25,663	
固定資産	5,142	5,134	
有形固定資産	3,171	3,248	
無形固定資産	38	42	
投資その他の資産	1,932	1,843	
資産合計 ポイント①	36,922	30,797	
負債の部			
流動負債	25,335	19,247	
固定負債	2,994	3,356	
負債合計 ポイント②	28,329	22,603	
純資産の部			
株主資本	8,132	7,742	
資本金	4,305	4,301	
資本剰余金	190	186	
利益剰余金	3,655	3,272	
自己株式	△18	△18	
評価・換算差額等	420	407	
新株予約権	39	43	
純資産合計 ポイント③	8,593	8,194	
負債純資産合計	36,922	30,797	

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

総資産 (単位:百万円)



1株当たり純資産 (単位:円)



ポイント① 資産合計

資産合計は前期に比べ61億2千4百万円増加し、369億2千2百万円となりました。主な内容は、工事進行基準適用工事の増加等に伴う受取手形・完成工事未収入金(流動資産)の増39億1千万円であります。

ポイント② 負債合計

負債合計は前期に比べ57億2千5百万円増加し、283億2千9百万円となりました。主な内容は、工事出来高の増加等に伴う支払手形・工事未払金(流動負債)の増51億8百万円であります。

ポイント③ 純資産合計

純資産合計は前期に比べ3億9千8百万円増加し、85億9千3百万円となりました。主な内容は、利益剰余金が前期に係る期末配当により1億7千9百万円減少したものの、当中間期において四半期純利益を5億6千2百万円獲得したため、3億8千2百万円増加したことであります。

損益計算書

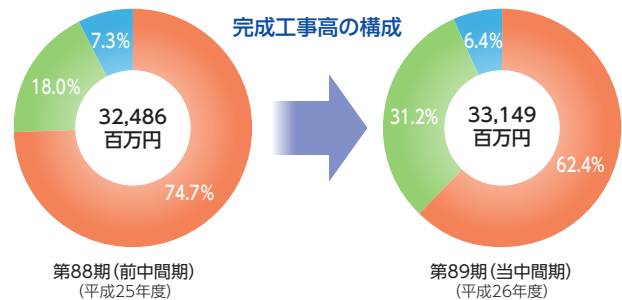
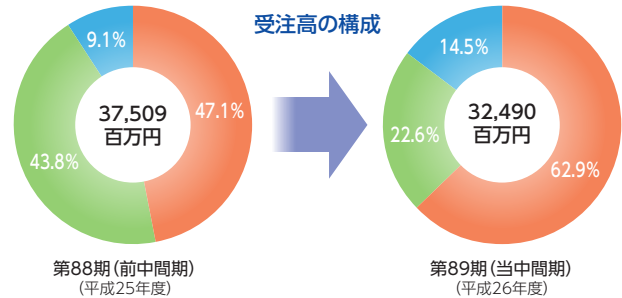
(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日
売上高	33,532	32,843
売上原価	31,700	31,241
売上総利益	1,832	1,601
販売費及び一般管理費	1,034	1,011
営業利益 ポイント④	797	590
営業外収益	49	141
営業外費用	79	74
経常利益 ポイント⑤	766	657
特別利益	37	—
特別損失	—	—
税引前四半期純利益	804	657
法人税、住民税及び事業税	338	421
法人税等調整額	△95	△156
四半期純利益 ポイント⑥	562	393

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△477	△2,559
投資活動によるキャッシュ・フロー	40	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△181	△179
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	△617	△2,751
現金及び現金同等物の期首残高	6,925	8,983
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,307	6,231

建設事業の概況 ■ 商業施設 ■ 住宅 ■ その他**ポイント④** 営業利益

前期以前に受注した低採算工事の一巡による利益率の改善などにより売上総利益が増加したため、前年同期比35.0%増の7億9千7百万円となりました。

ポイント⑤ 経常利益

経常利益は、貸倒引当金戻入れ益(営業外収益)が前年同期に比べ減少したものの、営業利益の増加等により、前年同期比16.7%増の7億6千6百万円となりました。

ポイント⑥ 四半期純利益

四半期純利益は、経常利益の増加のほか、賃貸用不動産の売却に伴う固定資産売却益(特別利益)3千7百万円の発生等もあり、前年同期比43.0%増の5億6千2百万円となりました。

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

施工事例

●より豊かで快適な『暮らし空間』の創造

基本構想からマーケティング、そして設計・施工の空間づくりに関するすべての業務を一貫して高い品質で創造すること。それが私たちイチケンの仕事であります。それはイチケンならではの蓄積された情報・ノウハウ、広いネットワーク力に支えられています。当社は、品質の向上と安全の徹底に努め、いかなるときもクリエイティビティを発揮し、より豊かで快適な『暮らし空間』の実現を目指します。



介護施設

グレースメイト
鷲ノ宮参番館

(東京都練馬区)

竣工：平成26年9月

構造：RC造 4階建

延床面積：3,347㎡



大型マンション

ブランド さくら夙川

(兵庫県西宮市)

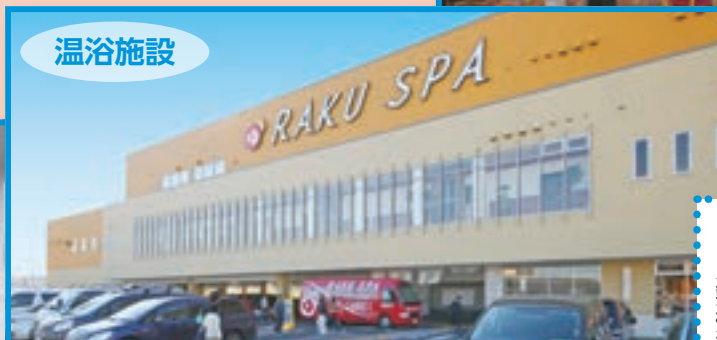
竣工：平成26年8月

構造：RC造 10階建

延床面積：8,336㎡



温浴施設



RAKU SPA 鶴見店

(神奈川県横浜市)

竣工：平成26年7月

構造：S造 4階建

延床面積：5,931㎡

ベルクスモール足立花畑



地域と暮らしに『花』を添える コミュニティショッピングセンター



(東京都足立区)

竣 工：平成26年10月

構 造：S造 2階建

延床面積：10,890㎡



地域の賑わいを創出

- 多様なニーズに対応する業種集積
- 新たな賑わい創出につながるテナント構成
- 開かれた沿道・広場整備

緑の保全・創出と 周辺と調和する景観形成

- 緑の保全と新たな緑の創出
- 周辺環境と調和・連動した景観形成
- サステナブルなデザイン・環境技術導入

地域密着 (地域貢献・地域連携)

- 子育て世代・高齢者に対する地域サービス
- まちづくりの場・地域活動への積極的な参加
- 備蓄倉庫設置・災害時協定・地域防災活動

● 会社概要 / 株式情報

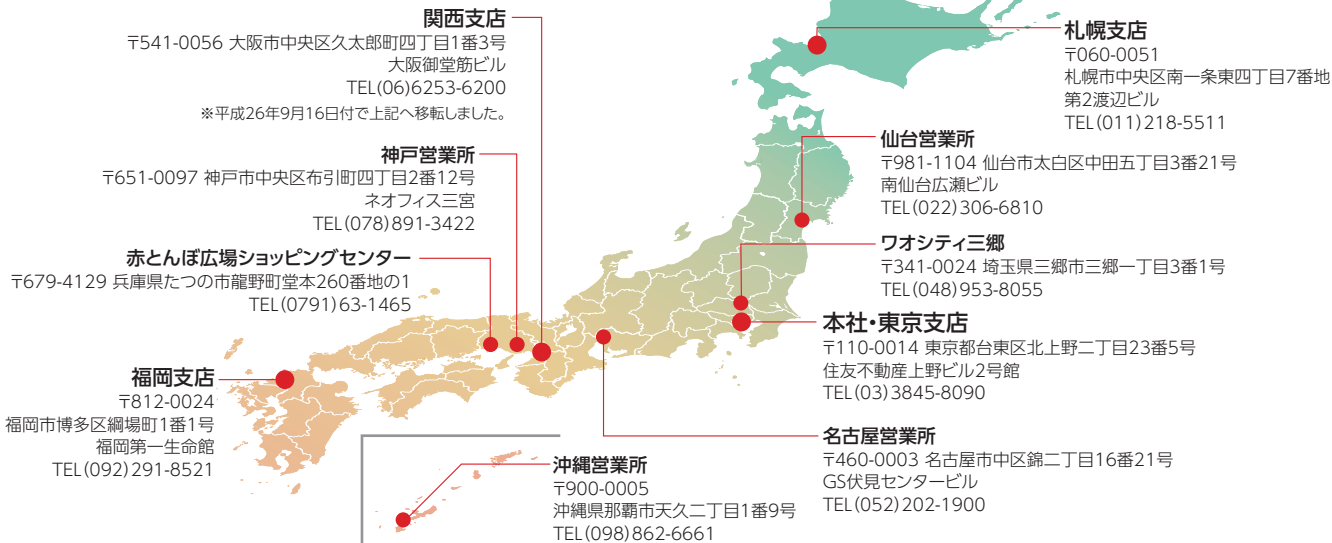
● 会社概要

(平成26年9月30日現在)

商号	株式会社イチケン
創業	昭和5年6月
資本金	43億564万5,530円
営業種目	総合建設業、貸ビル賃貸業、住宅・商業施設ディベロッパー事業、都市環境整備事業、複合商業施設企画・設計・施工・監理、専門店舗企画・設計・施工・監理
従業員数	554名
取引銀行	三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 東日本銀行 他

● 事業所一覧

(平成26年9月30日現在)



● 役員

(平成26年9月30日現在)

取締役および監査役

代表取締役会長	水野 憲 雄	常勤監査役	木村 隆 夫
代表取締役社長	土谷 忠 彦	監査役(社外)	喜多 悟
取締役	長谷川 博 之	監査役(社外)	西村 正 明
取締役	吉田 稔	監査役(社外)	青柳 正 敏
取締役(社外)	本山 洋 平		

執行役員

社長執行役員	土谷 忠 彦	執行役員	野崎 晃
専務執行役員	長谷川 博 之	執行役員	阿野 浩 二
常務執行役員	吉田 稔	執行役員	山口 清 人
常務執行役員	古川 仁 一	執行役員	松本 英 典
常務執行役員	湯ノ口 智 治	執行役員	佐々 英 昭
執行役員	西出 英 雄	執行役員	磯野 慶 治
執行役員	中寺 伸 一		

●株式の状況

(平成26年9月30日現在)

発行可能株式総数	111,200,000株
発行済株式の総数 (自己株式103,729株を含む)	36,062,000株
株主数	4,698名

●大株主

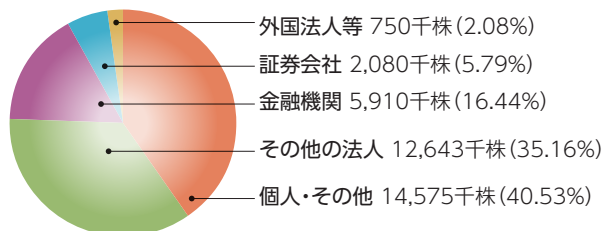
(平成26年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社 マルハン	11,714	32.57
日本証券金融株式会社	1,336	3.71
株式会社 三井住友銀行	996	2.76
全国一栄会持株会	929	2.58
松井証券株式会社	703	1.95
株式会社 三菱東京UFJ銀行	592	1.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	576	1.60
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	330	0.91
イチケン従業員持株会	311	0.86
株式会社 SBI証券	306	0.85

- (注) 1. 持株数上位10名の株主について記載しております。
 2. 持株数は、1,000株未満の株式数を切り捨てて表示しております。
 3. 持株比率は、各株主の持株数(1,000株未満の持株数を含む)の自己株式を除く発行済株式の総数に対する比率を記載しており、パーセントの数値は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。
 4. 全国一栄会持株会は、当社の取引先企業で構成されている持株会であります。

●所有者別株式分布の状況

(平成26年9月30日現在)



(注) 自己株式を除外した比率を記載しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 配当金受領株主確定日 毎年3月31日 なお中間配当を実施する 場合の株主確定日は 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(通話料無料)

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同連絡先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公告方法 電子公告により行います。
(当社ホームページ)

<http://www.ichiken.co.jp>

但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。

お知らせ

▶株式に関する住所変更等のお申し出先について

1. 証券会社の口座に株式をお持ちの株主様
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
2. 特別口座に株式をお持ちの株主様
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

▶未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

当社ホームページのご案内

<http://www.ichiken.co.jp>



当社ホームページでは、ニュースリリースをはじめ、詳しい事業案内やIR情報など充実した情報を適時、掲載しています。



株式会社 **イチケン**

〒110-0014 東京都台東区北上野二丁目23番5号 住友不動産上野ビル2号館
電話(03)3845-8090 (9:00~18:00、土・日・祝日・年末年始を除く)



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915

